



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社

コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	58,136	△1.6	529	28.7	396	7.5	147	—
26年12月期第3四半期	59,075	△1.9	411	△66.2	368	△69.2	△35	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 250百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 1百万円 (△99.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	2.36	—
26年12月期第3四半期	△0.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	51,086	20,548	36.1
26年12月期	60,165	20,841	30.9

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 18,445百万円 26年12月期 18,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	7.00	7.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△1.4	1,600	20.9	1,400	8.5	200	230.8	3.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	65,586,196 株	26年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	2,847,270 株	26年12月期	2,841,218 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	62,742,273 株	26年12月期3Q	62,748,830 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算書は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

○第3四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られ緩やかな景気回復基調にあるものの、円安を背景とした物価上昇が続くなど、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

酒類業界におきましては消費の二極化・複層化が進む中、企業間の販売競争が激化しており、原材料価格の高騰や物流コストの大幅な上昇により、厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、58,136百万円(前年同期比1.6%減)となりました。利益面では、物流コストが上昇したものの、エネルギーコストの低減やマーケティング費用の減少などにより、営業利益は529百万円(前年同期比28.7%増)、経常利益は396百万円(前年同期比7.5%増)となりました。また、四半期純利益は147百万円(前年同期は35百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第3四半期 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
酒類	焼酎	27,907	98.1
	チューハイ	5,800	100.5
	清酒	4,369	96.5
	合成清酒	2,461	93.7
	販売用アルコール	4,579	91.0
	みりん	372	97.9
	和酒部門	45,490	97.2
	洋酒部門	4,747	101.0
	その他の部門	876	105.0
	酒類		51,115
加工用澱粉		3,031	100.2
酵素医薬品		3,243	98.9
不動産		263	76.3
バイオエタノール		467	596.8
その他		15	64.4
合計		58,136	98.4

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充と販売促進活動を行いました。市場の停滞や販売競争の激化の影響により、酒類事業合計の売上高は51,115百万円(前年同期比2.3%減)となりました。利益面につきましては、売上高の減少や物流コストの上昇があったものの、エネルギーコストの低減やマーケティング費用の減少などにより、463百万円の営業損失(前年同期は656百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、芋焼酎の「博多の華 芋」、「黒海渡(くろかいと)」、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」が前年に引続き好調に推移しております。また、甲類焼酎では北海道売上No.1焼酎「ビッグマン」シリーズの「ビッグマン20%」を北海道限定でデザインを一新し、より一層地元北海道色を強くした焼酎としてリニューアルいたしました。なお、本格むぎ焼酎「博多の華 三年貯蔵」、本格焼酎「博多の華 芋」が、モンドセレクション優秀品質金賞を受賞いたしました。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、国産素材にこだわったチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズが好調に推移いたしました。また、こだわりの本格焼酎を使用した「GODO 日本ハイボール8%」、国産混濁果汁使用の「おいしい果実のチューハイ にごり和梨」を新発売し、日本ならではの美味しさを提案しております。

清酒においては、しっかりとした味わいながらもお手頃な価格で楽しめる「蔵人の譽(ほまれ)」シリーズが好調に推移しております。また、天然水仕込みの清酒「甲斐の酒」、季節限定商品「特別純米 力(ちから) ひやおろし」を発売し、清酒を好まれる様々なお客様のニーズにお応えしております。なお、平成26酒造年度全国新酒鑑評会において、「大雪乃蔵 鳳雪(ほうせつ)」、「北の譽」が金賞を受賞いたしました。

洋酒部門においては、しそ焼酎「鍛高譚(たんだかたん)」と同じ赤しそを使用した赤しそ浸漬酒と梅酒をそれぞれ丁寧に蒸留し、ブレンドした「透明な鍛高譚の梅酒」や、お手頃価格ながらも確かな味わいを両立したフランスワイン「エスポワール ボルドー」を新発売しております。

その他の洋酒では、北海道「知床らうす深層水」を使用した「グランブルー」のフルーツフレーバーシリーズに、青森県産りんごを使用した「グランブルー りんご」をラインアップに加え、手軽にロックでお酒を楽しむお客様にお応えしております。

その他の部門については、飲食店の売上が増加しております。なお、インターナショナル・ビアカップ2015でシャトーカミヤにある牛久ブルワリーで醸造した地ビール「牛久シャトービール」4品種が受賞し、そのうち「ピルスナー」と「牛久ホワイト」が金賞を受賞いたしました。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、シリアル食品用コーングリッツが減少したものの、ビール用コーングリッツ等が増加したことにより、売上高は3,031百万円(前年同期比0.2%増)となりました。しかしながら、原材料単価の上昇により、営業損失は114百万円(前年同期は19百万円の営業利益)となりました。

なお、当セグメントにおいては、平成27年10月7日付「当社連結子会社における不適切な会計処理について」でご報告いたしましたとおり、当第3四半期連結会計期間において、当該不適切な会計処理による影響額、151百万円を売上原価で一括して処理しております。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業においては、酵素における乳糖分解酵素が乳製品の甘味やなめらかさを向上させる効果も評価され、売上が増加いたしました。しかしながら、診断薬及び原薬において売上が減少したことにより、売上高は3,243百万円(前年同期比1.1%減)となりました。営業利益は、売上高の減少及び売上原価の増加により904百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業については、賃貸借契約の減少があったため、売上高は263百万円(前年同期比23.7%減)となり、営業利益は176百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

【バイオエタノール事業】

バイオエタノール事業については、売上高は467百万円(前年同期は78百万円の売上高)、営業利益は19百万円(前年同期は290百万円の営業損失)となりました。

なお、平成27年3月をもってバイオエタノールの生産は終了しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、51,086百万円となり、前連結会計年度末と比較し9,079百万円の減少となりました。これは主に季節要因による売上高の減少により、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。

負債につきましては、30,537百万円となり、前連結会計年度末と比較して8,786百万円の減少となりました。これも主に季節要因による売上高の減少により、未払酒税及び未払金が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、20,548百万円となり、前連結会計年度末と比較して292百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準の改正等に伴う会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が25百万円増加し、利益剰余金が17百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,736	1,294
受取手形及び売掛金	23,269	14,613
商品及び製品	7,062	7,640
仕掛品	328	270
原材料及び貯蔵品	1,624	1,064
繰延税金資産	622	634
その他	987	400
貸倒引当金	△21	△8
流動資産合計	35,609	25,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,417	25,967
減価償却累計額	△17,611	△18,038
建物及び構築物（純額）	7,805	7,929
機械装置及び運搬具	31,878	32,586
減価償却累計額	△28,300	△28,832
機械装置及び運搬具（純額）	3,577	3,753
その他	2,309	2,315
減価償却累計額	△2,125	△2,151
その他（純額）	183	163
土地	8,886	8,886
建設仮勘定	980	1,166
有形固定資産合計	21,435	21,900
無形固定資産		
のれん	392	344
その他	400	396
無形固定資産合計	792	740
投資その他の資産		
投資有価証券	1,554	1,744
繰延税金資産	331	358
退職給付に係る資産	29	40
その他	419	400
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,328	2,536
固定資産合計	24,556	25,177
資産合計	60,165	51,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,922	5,020
電子記録債務	—	550
短期借入金	4,880	5,980
リース債務	23	13
未払金	5,000	3,262
未払酒税	9,835	4,811
未払法人税等	406	281
賞与引当金	56	366
役員賞与引当金	26	23
設備関係支払手形	525	514
その他	2,316	861
流動負債合計	29,993	21,684
固定負債		
長期借入金	3,260	2,420
長期預り金	3,337	3,436
リース債務	36	30
退職給付に係る負債	1,557	1,527
資産除去債務	129	129
繰延税金負債	202	198
その他	805	1,110
固定負債合計	9,330	8,852
負債合計	39,324	30,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	6,458	6,149
自己株式	△564	△565
株主資本合計	18,417	18,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327	472
繰延ヘッジ損益	49	△3
退職給付に係る調整累計額	△193	△131
その他の包括利益累計額合計	182	338
少数株主持分	2,240	2,103
純資産合計	20,841	20,548
負債純資産合計	60,165	51,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	59,075	58,136
売上原価	49,168	47,925
売上総利益	9,906	10,211
販売費及び一般管理費	9,495	9,681
営業利益	411	529
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	16	22
受取賃貸料	58	60
為替差益	2	-
雑収入	39	32
営業外収益合計	117	114
営業外費用		
支払利息	137	120
操業休止等経費	5	89
雑損失	17	37
営業外費用合計	160	247
経常利益	368	396
特別利益		
国庫補助金等受贈益	2	2
負ののれん発生益	6	25
その他	1	0
特別利益合計	9	28
特別損失		
固定資産除売却損	14	14
投資有価証券評価損	9	11
その他	3	0
特別損失合計	27	26
税金等調整前四半期純利益	350	397
法人税等	377	306
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	90
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35	147

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	149
繰延ヘッジ損益	△3	△51
退職給付に係る調整額	-	61
その他の包括利益合計	28	159
四半期包括利益	1	250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	303
少数株主に係る四半期包括利益	9	△52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	52,320	3,025	3,280	345	78	59,050	24	—	59,075
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	—	—	—	—	2	—	△2	—
計	52,323	3,025	3,280	345	78	59,053	24	△2	59,075
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△656	19	1,125	205	△290	404	6	—	411

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	51,115	3,031	3,243	263	467	58,121	15	—	58,136
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	—	—	—	—	3	—	△3	—
計	51,118	3,031	3,243	263	467	58,124	15	△3	58,136
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△463	△114	904	176	19	522	6	—	529

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日付で公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度に適用される法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、平成28年12月期以後の連結会計年度の法人税等の効果の及ぶ一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.6%から平成28年12月期においては33.1%に、平成29年12月期以後に開始する連結会計年度においては32.3%に変更しております。

なお、この変更により当第3四半期連結累計期間の繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が111百万円、その他有価証券評価差額金が23百万円それぞれ増加し、法人税等が95百万円減少しております。

平成27年12月期 第3四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

平成27年11月6日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成26年1月1日 至平成26年9月30日	自平成27年1月1日 至平成27年9月30日		
酒類事業	52,320	51,115	△ 1,205	97.7
加工用澱粉事業	3,025	3,031	6	100.2
酵素医薬品事業	3,280	3,243	△ 36	98.9
バイオエタノール事業	78	467	388	596.8
不動産事業その他	370	279	△ 90	75.5
売上高	59,075	58,136	△ 938	98.4
売上原価	49,168	47,925	△ 1,242	97.5
売上総利益	9,906	10,211	304	103.1
販売費及び一般管理費	9,495	9,681	185	102.0
酒類事業	△ 656	△ 463	192	-
加工用澱粉事業	19	△ 114	△ 134	-
酵素医薬品事業	1,125	904	△ 221	80.3
バイオエタノール事業	△ 290	19	309	-
不動産事業その他	212	183	△ 28	86.5
営業利益	411	529	118	128.7
営業外収益	117	114	△ 3	97.1
営業外費用	160	247	87	154.2
経常利益	368	396	27	107.5
特別利益	9	28	18	284.6
特別損失	27	26	△ 0	98.6
税金等調整前四半期純利益	350	397	46	113.2
法人税等合計	377	306	△ 71	81.1
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 26	90	117	-
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△ 57	△ 66	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 35	147	183	-
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)※円	△ 0.57	2.36	2.93	-
減価償却費	1,470	1,324	△ 146	90.0

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 9月30日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年 9月30日		
焼 酎	28,448	27,907	△ 540	98.1
(甲 類 焼 酎)	(11,667)	(11,395)	(△ 272)	(97.7)
(乙 類 焼 酎)	(16,781)	(16,512)	(△ 268)	(98.4)
チ ュ ー ハ イ	5,770	5,800	29	100.5
清 酒	4,527	4,369	△ 157	96.5
合 成 清 酒	2,627	2,461	△ 165	93.7
ア ル コ ー ル	5,030	4,579	△ 451	91.0
み り ん	379	372	△ 7	97.9
洋 酒	4,702	4,747	45	101.0
そ の 他	834	876	41	105.0
酒 類 計	52,320	51,115	△ 1,205	97.7
加 工 用 澱 粉	3,025	3,031	6	100.2
酵 素 医 薬 品	3,280	3,243	△ 36	98.9
不 動 産	345	263	△ 82	76.3
バ イ オ エ タ ノ ー ル	78	467	388	596.8
そ の 他	24	15	△ 8	64.4
合 計	59,075	58,136	△ 938	98.4

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	192	原材料コストの低下による原価減+380 物流コスト除く販管費の減+190 物流コストの増△350 売上高減少による総利益減△190 製品構成の影響等+162
加工用澱粉事業	△ 134	製品構成の影響及び原価の上昇
酵素医薬品事業	△ 221	売上単価の低下及び製造経費の増加
バイオエタノール事業	309	売上高の増加
不動産事業その他	△ 28	賃貸契約の減少
営業利益	118	
営業外収益	△ 3	
営業外費用	△ 87	バイオエタノール生産設備維持費用
経常利益	27	
特別利益	18	負ののれん発生益
特別損失	0	
税金等調整前四半期純利益	46	
法人税等	71	法人税率変更の影響
少数株主損益調整前四半期純利益	117	
少数株主利益	66	
四半期純利益	183	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成26年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成27年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,736	1,294	△ 442	74.5	
受取手形及び売掛金	23,269	14,613	△ 8,656	62.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	9,015	8,974	△ 40	99.6	
繰延税金資産	622	634	12	102.0	
その他	987	400	△ 586	40.6	バイオエタノール立替金の減
貸倒引当金	△ 21	△ 8	12	-	
流動資産合計	35,609	25,909	△ 9,700	72.8	
建物	6,416	6,345	△ 70	98.9	
土地	8,886	8,886	-	100.0	
その他	6,131	6,667	535	108.7	シャトーカミヤ修復工事による増
有形固定資産計	21,435	21,900	464	102.2	
無形固定資産	792	740	△ 52	93.4	
投資有価証券	1,554	1,744	190	112.2	時価の上昇
長期前払費用	186	174	△ 11	93.7	
繰延税金資産	331	358	26	108.1	
その他	263	266	3	101.2	
貸倒引当金	△ 6	△ 6	0	-	
投資その他の資産計	2,328	2,536	208	108.9	
固定資産合計	24,556	25,177	620	102.5	
資産合計	60,165	51,086	△ 9,079	84.9	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成26年12月31日	当第3四半期 連結会計期間 平成27年9月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,922	5,571	△ 1,350	80.5	
短期借入金	4,880	5,980	1,100	122.5	長期借入金からの振替
未払金	5,000	3,262	△ 1,737	65.2	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	9,835	4,811	△ 5,023	48.9	季節要因による売上高減
その他	3,356	2,059	△ 1,296	61.4	未払消費税の減
流動負債合計	29,993	21,684	△ 8,308	72.3	
長期借入金	3,260	2,420	△ 840	74.2	短期借入金への振替
その他	6,070	6,432	361	106.0	
固定負債合計	9,330	8,852	△ 478	94.9	
負債合計	39,324	30,537	△ 8,786	77.7	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,576	5,576	-	100.0	
利益剰余金	6,458	6,149	△ 308	95.2	配当金の支払による減
自己株式	△ 564	△ 565	△ 1	-	
株主資本合計	18,417	18,107	△ 309	98.3	
その他有価証券評価差額金	327	472	145	144.5	
繰延ヘッジ損益	49	△ 3	△ 52	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 193	△ 131	61	-	
その他の包括利益累計額合計	182	338	155	184.8	
少数株主持分	2,240	2,103	△ 137	93.9	
純資産合計	20,841	20,548	△ 292	98.6	
負債純資産合計	60,165	51,086	△ 9,079	84.9	

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度		当連結会計年度		増減(△)	前年対比(%)
	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日		
酒類事業	75,179	74,076	△ 1,102	98.5		
加工用澱粉事業	4,058	3,998	△ 60	98.5		
酵素医薬品事業	4,039	4,090	50	101.3		
バイオエタノール事業	445	467	21	104.8		
不動産事業その他	463	368	△ 95	79.4		
売上高	84,186	83,000	△ 1,186	98.6		
売上原価	69,555	67,871	△ 1,684	97.6		
売上総利益	14,631	15,128	497	103.4		
販売費及び一般管理費	13,308	13,528	220	101.7		
酒類事業	△ 240	353	593	-		
加工用澱粉事業	40	△ 91	△ 132	-		
酵素医薬品事業	1,469	1,089	△ 380	74.1		
バイオエタノール事業	△ 214	19	233	-		
不動産事業その他	266	230	△ 36	86.2		
営業利益	1,323	1,600	276	120.9		
営業外損益	△ 33	△ 200	△ 166	-		
経常利益	1,290	1,400	109	108.5		
特別損益	△ 702	△ 444	257	-		
税金等調整前当期純利益	588	955	367	162.5		
法人税等合計	498	790	291	158.6		
少数株主損益調整前当期純利益	89	165	75	184.3		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	29	△ 34	△ 63	-		
当期純利益	60	200	139	330.8		

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日		
焼酎	40,941	40,189	△ 751	98.2
(甲 類 焼 酎)	(16,661)	(16,279)	(△ 381)	(97.7)
(乙 類 焼 酎)	(24,279)	(23,909)	(△ 370)	(98.5)
チ ュ ー ハ イ	7,985	8,041	56	100.7
清 酒	6,867	6,615	△ 252	96.3
合 成 清 酒	3,802	3,570	△ 231	93.9
ア ル コ ー ル	6,636	6,620	△ 16	99.8
み り ん	572	562	△ 10	98.3
洋 酒	7,210	7,263	52	100.7
そ の 他	1,164	1,214	50	104.3
酒 類 計	75,179	74,076	△ 1,102	98.5
加 工 用 澱 粉	4,058	3,998	△ 60	98.5
酵 素 医 薬 品	4,039	4,090	50	101.3
不 動 産	432	344	△ 88	79.6
バ イ オ エ タ ノ ー ル	445	467	21	104.8
そ の 他	31	23	△ 7	75.4
合 計	84,186	83,000	△ 1,186	98.6